

市民オンラインアンケートに寄せられた厳しいご意見の例（一部抜粋）

（教育委員会に関するご意見）

○大阪市立学校の教職員

- ・教育振興基本計画で目標としているところの達成状況を今後はきちんと掲載すべきだと思います。
- ・当然達成状況が思わしくない場合には、どこに原因があるのか今後早急に改善すべき点も検証して、それについても定期的に公表していくべきだと思います。教育振興基本計画のp23にもありますように、教育委員会自身がPDCAサイクルを回さないと全く意味がないと思います。教育委員会の皆様は『權より始めよ』ということわざをご存知ですよ。
- ・教育委員会議で議論された資料をタイムリーに出せるようになったことは画期的な改善だと思います。 <http://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000363135.html>
- ・この調子で教育振興基本計画で目標としているところの達成状況を定期的に今後はきちんと公表すべきだと思います。

○大阪市立学校の教職員

- ・大阪市の中学校進学実績公表はもちろんよいことですが、これと同時に区の壁を越えて各中学校間の情報交換を密接に行うようにして、進学実績があがっている学校の取り組みをすぐに他の学校にも情報が行くようにすることも大切であると思います。
- たとえばうまく授業される先生の様子を撮影した動画を各中学校がすぐに視聴できたりすることもできるとよりよいかと思います。
- ・15年前(関潤一市長時代)からお伝えしておりますように、教育委員会事務局はPDCAのP(PLAN)D(DO)をしたら終わりにするのではなく、C(CHECK)A(ACTION)を実践してほしいと思います。
- つまりプレス発表したら終わりではなく、次につなげる発想や行動が起こせる組織になるとよいのではないかと思います。そのためにも各学校が連携して情報共有しやすい環境を創るためにアイデアを出せる組織になってほしいと思います。

（区役所に関するご意見）

○大阪市立学校の教職員

- ・区役所と学校との連携による教育推進活動・施策の運用が、児童・生徒への教育活動推進に十分機能していない。
- 1、区役所の教育と区内各学校との、児童生徒への指導および働きかけの方針・方法のずれ。
- 2、区役所教育担当者区内管理職との協議会的な話し合い活動の場の不足
- ・改善策
- * 区に配当するへの教育予算の充実
- * 予算案、区独自の教育活動推進のためのPJをたちあげる。メンバーは必ず、区役所担当者と区の校長・教頭、必要であれば、区PTA代表・地域の方を入れる。
- あくまで協議会であり、公開で実施される区政会議とは違う。各校の児童生徒の実態等具体的な話をベースに協議していくため。

* 校長戦略支援予算を区で分配

全市で行っている校長戦略支援予算（加算）については、区で実施校を決める。何処学校になっても、区内の学校教育充実につながる。

加算については、各校でプレゼンをして、配分を決定する。このことにより、区役所も区内の学校が、何を重点に教育活動を推進しようとしているのかがよくわかる。

（教職員及び教育委員会に関するご意見）

○大阪市立学校の教職員

・教育委員会、管理職、教職員の各層間の信頼感のなさ。特に教職員が管理職や教育委員会に対して不服を言い過ぎる。

・今回のようなアンケートは大変有意義であり、素晴らしい取り組みです。厳しい教育環境にある大阪の取り組みが、日本の中でもリーダー的な存在であることを誇りに思います。

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者

1、教員の質が悪い。

・「教育者としての魅力」で生徒を指導するのではなく、どう喝したり威嚇したりして言うことをきかそうとしている。生徒たちが、サーカスの動物に見える。生徒のために教師がいる、ということが解っていない。生徒より教師や学校の都合が優先されている。

社会人としてのマナーがまるで身につけていない。社会人として、仕事のすすめ方の効率が悪すぎる。

・教員が、学生のまま教師になっている。

教員になった際、適切な研修を受けていないのではないか。

若い教員を見守り育てていく先輩教員がいないのではないか。

教頭先生が怠慢なのではないか。

・教員採用試験に受かったら、1～2年ほど民間企業で働いてから教壇に立てばいい。

2、教育委員会がやってることは、現場の現状とかけ離れている。

・生徒、教師、学校のために教育委員会があるのではなく、「教育委員会ありき」になっているのではないか。

・教育委員会で働く人は、1～2年ほど民間企業で働いてから3年ほど教師をした人がいいと思う。

（教職員に関するご意見）

○大阪市立学校の児童・生徒 / 大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市内にお住まいの乳児・幼児の保護者 / 大阪市立学校の卒業者

・教師の質が悪い。

教員免許の審査をもっと厳しくしてほしい。

平均的な基礎学力が弱い。学校で教えてもらえることでは限界がある。塾を行かなくては追いつかないのは普通ではない。

先生達も生徒達を見下し過ぎている。少し訂正をしたらすぐに怒るし、自分が説明下手なくせにすぐに怒る。口が悪いし、すぐ手出すし。質が悪すぎると思います。

・1つの授業に2～3人教師を付けて、落ちこぼれが出ないようにフォローする。

（のような先生は、いるけど

発達障害の子しか教えなくて寝てる子は全然怒らないし、障害者の子に本気で怒ってる）

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市立学校の卒業者 / 大阪市民

- ・教員も査定されるべき。年齢給の廃止。保護者が教諭の参観をし、査定し、評価する制度が必要。
 - ・授業についていけない子どもの学習を家庭まかせにせず、学校で、子どもがわかるまで補習をすべき。
 - ・やる気のない教諭に子どもが習うと必ず成績がさがる。塾まかせにせず、もっと仕事をする事への意識を高め自分の仕事に真摯に向き合うべきだ。
- 塾に行っていない子どもの成績が悪いのは、授業を行う教諭に問題があることを真摯に受け止めるべき。
- ・子どもの成績全般について、教諭が責任をとる意識をしっかりと持ち、子どもがわかるまで付き合う。わからないのは自分のせいだと思うこと。

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者

- ・テストで点がとれていないのは、きちんと理解させていないのが原因なのに、フォローできていない。
 - ・テストで8割取れない子どもたちは、取りこぼさないよう最後まで指導するようにしてほしい。
- 例えば 学年末のテストなどで始めに目標を掲げさせ、目標を達成できていない指導者にはペナルティを課してもらいたい。成果主義に弊害があるのは理解していますが、今の教員は生温すぎる気がする。
- ・私立の教育などもきちんと参考にしてほしい。
 - ・ベテランで素晴らしい先生が少なすぎるし、若手でもヤル気があって一生懸命な先生もいるのに、その人たちを育てる環境がない気がする。
 - ・あと、どう考えても一般企業ならクビになるか窓ぎわに追いやられそうな仕事しかできていない能力の低い教員をそもそも採用しないでほしい。

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者

- ・教員の質が悪いです。
 - ・もちろん保護者としてありのままお答えすると、担任の問題行動や、子供たちを教えるどころか学級崩壊して、授業になりません。
 - ・教頭先生などに許可を得て、授業参観以外に抜き打ちで授業をみていますと子供たちにも問題がありますが、担任も最初の挨拶もなしの場合があり、休み時間とのメリハリがなく 子供たちの問題を解決するための指導もされず、子供たちの間でもガラスが割れて怪我したり暴力沙汰になっています。
 - ・聞くところによると大阪市の教員の給与は他と比べて低いと聞きます。
- 立ち回り良い方は別の都道府県へ。
空きがなく新人や問題があった方が大阪市にとどまっているようにしか思えません。

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市立学校の卒業者 / 大阪市民

- ・中学校教諭の資質の低下。
- グループワークで各グループが何をしているか見ようとしないうちに社会教諭、廊下を走って通りすぎる教諭、子どもの胸ぐらをつかんで恫喝する体育教諭、三者懇談で子どもの失敗ばかりを並べ立てる担任教諭。
- ・教員の意識の甘さ、あるいはやりがいの無さ。
 - ・民間教育団体なら基本行動としていることを、公の立場に甘んじず実践してほしい。決して難しいことではない。また、実践を評価し学校単位で比較できるような仕組みがあればと思う。

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市立学校の学校協議会委員 / 大阪市内にお住まいの乳児・幼児の保護者 / 大阪市立学校の卒業者 / 大阪市民

・教職員の権限強化。

親を恐れて動きが取れなくなっている教職員が多くなっているように感じる。モンスターペアレンツに対する指針、子どもに対する対応等を明確にし、毅然とした振る舞いが出来るように後押しをする。

・教職員に対する評価の厳格化。

きちんと生徒に向き合っていない教職員に対しては、どんどんと厳しい評価を下す。保護者、生徒からの評価も入れるべき。一部のモンスターが最低評価をしたとしても、その他のまっとうな保護者が高い評価をすれば、その先生の評価は落ち着くべきところに落ち着く。

・教職員に対する校長、教頭の権限は、大きく向上させるべき。加えて、マネージャーとしての意識改革が必要。評価を嫌がる校長、教頭が多いように見受けられるが、評価をするのはマネージャーの本来の仕事であるということが分かっていない。

○大阪市立学校の教職員 / 大阪市民

・新規採用者のごく一部であるが、話を聞いてみると、大阪市に対してマイナスのイメージのみが先行しているように思う。管理が厳しい、給料が安い、保護者・地域等により学校が厳しい状況に置かれている等、具体的な事例ではなく何となく「しんどい」雰囲気があるように感じる。一方、「何故、大阪市を受験したのか」という問いには、正直な意見として「通りやすいから」という教育の課題とは違った意見での受験動機を聞いたこともある。

イメージ先行で、受験者が少なくなりその結果として、より優秀な人材を確保しにくい状況になっているのではないだろうか。

・今の私たちの取組、先進的に取り組もうとしている英語教育、ICTを活用した教育、これまでの多くの優れた実践がある特別支援教育、インクルーシブ教育、また学校一丸となって取り組む教科指導に関する研究等、多くの実践・研究を積極的に学生に紹介する場を設ける。これらを現場の声として学生にアピールする機会があれば、校務を調整し、具体的に学生に話をしていきたいし、見学実習、現場訪問等、学生に現場の声を届けたい。具体的には

1. 現場の状況を伝えるアピールを学生にする。
2. 会社訪問ならぬ、現場訪問を積極的に受け入れる。
3. 見学実習の受け入れ
4. 卒業論文でのデータ提供

(学校のマネジメント及び情報公開に関するご意見)

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市内にお住まいの乳児・幼児の保護者

・閉鎖的な環境がよくないので、外部アドバイザー・外部顧問など、学校の授業・部活に積極的に協力体制を作ること。

・先生方の本業以外の負担を減らして、効率よく仕事が集中できること。

・外部の専門家による学校診断(監査)をする。結果報告を開示すること。

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者

・先生はパワハラのような口ぶりで、締め付け、聞いた話では、お前が死ねと言われた生徒もいるとか。規則をバックにパワハラが行われている現状にしっかりとめを向けてください。今の時代にあった、教育を。小学校は感じませんが、中学の先生は内申書をちらつかせほんとにひどいものです。

・規則見直しを保護者も交えて話合う場を。

もっと、オープンに。登校拒否の原因に先生もあります。そこはないものと、している。ひどい現状。内申書の効力を下げる 先生のパワハラについてはこれがバックになっているとしか思えない 保護者も殆んどの人が泣き寝入り。高校受験の為。

○その他（お差し支えなければ具体的に）(大阪市職員)

- ・生徒、児童に対する「教育的配慮」の名のもと、情報公開に対する意識が極めて低い。また、外部からの指摘、指導について、軽視、無視が横行している。その結果、学校現場における「隠ぺい体質」「事なかれ主義」批判につながっている。
- ・反面、閉鎖性、気密性が高いため、いじめ、不登校等全てを学校現場自身が抱え、また、家庭・行政は学校現場に押し付けている。教員は、一人一人が独自判断を強いられ、体調を崩す原因や指導教諭のハラメントを招く要因ともなっている。
- ・学校現場における適度なヒエラルキーを実現し、ガバナンスを徹底できるよう、職制、役職、給与等の体制を構築する。
- ・学校現場における、情報公開、情報提供の機運を高めるため、学校ごとの情報公開ランキングを公表する。ランキング結果による報酬反映を行う。
- ・情報公開、個人情報保護、コンプライアンス、キャリアデザイン、など一般的な研修は、教員と行政職の合同で行い、学校現場における、閉鎖性、気密性解消を行う。
- ・大阪市独自で行えないのであれば、教育特区申請を行い実施する。

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市立学校の教職員 / 大阪市民

・現在の教職員の評価制度による SS・S・A・B・C・D の比重を 50%、在籍する学校総体としての評価 ・ ・ ・星なしの比重を 50%とし、給与等に反映する「新：教職員の評価育成」を導入する。

学校総体の評価は、現在区役所の評価の 評価（絶対評価）を実施している手法を活用していく。

この新評価制度の導入により、教職員のチーム力が向上し、今まで以上に教職員のスキルが向上していくと考える。また、各校の 評価を大阪市教育委員会の HP 上に公表し、学校選択制の情報として市民が活用できるようにしていく。

尚、各校の 評価は、学期末に発表し、年度内の意欲向上に結びつけていくこととする。（いわゆる「学校への通知表」である。）

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者

・現在の義務教育では、子供たちが十分な教育を受けていない。知識は塾任せ・体力は習い事任せ・泳法に至ってはスイミングスクール任せ。子供たちは集団生活を送っているが、先生がヒエラルキーを作ってしまう学級崩壊したり、いじめ問題を解決する能力もない。ノート板書の方法など基礎的な学力に繋がる能力を教えていない。その割に塾に通っている生徒に配慮してか、宿題の絶対量が少ない。このままでは、日本の国力が低下すると危ぶまれる。

・教師のコミュニケーション能力の低下。クラス運営に失敗する先生が多い。そういう先生を特別支援教室担当にする学校が多いことも問題。特別支援教室にはスペシャリストが従事すべき。

・教頭の管理能力の低さ。問題を「なかったこと」にしたいという気持ちが見え見え。3年で赴任先が変わるとしても、監督義務は果たすべき。生徒より先生を守る態度が腹立たしい。

・私立高校の学費の援助を小学校からに広げる。実際私立高校にも門戸が広がったことによって、公立高校より「面倒見のいい私立に」とお子さんを進学させる親御さんは増えた。競争があることで、公立も多少良くなるのではないかと？

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市立学校の卒業者 / 大阪市民

- ・担任の先生により、向かっている方向性がバラバラ。

例えば、中学を卒業して働く子もいるからと、勉強よりも誰とでもやっつけていける人間教育が中心な先生もいれば、教科書プラスアルファまで、教えてくれる先生もいる。

プラスアルファまで教えてくれる先生の次の担任が人間教育が中心だと、勉強面では物足りなさを感じる。

- ・学校の方向性が、教員全体に周知されず定まってない。

(学力・授業等に関するご意見)

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者

・他府県に比べ、基礎学力が低いところ。大阪弁のせいなのか、教員の普通の生徒に対する言葉使いが荒いこと。公募校長の様々な事件による、父兄から校長への不信感があること。グローバル化といっても、英語を話せる教員も、外国で生活したことのある教員もおらず、習い事などで学んでいる生徒より英語のレベルが低いこと。食育といいつつ、アレルギーや宗教上の理由への配慮が足りない。強制的に食べさせることや、給食中の会話を禁止するのはおかしいと思う。

・授業内容がスカスカで子供達が退屈しているので、教科書だけでなく副教材をもっと増やすべき。英語だけでなく、マイクラフトを使った授業やプログラミング等、海外で取り入れられている授業を取り入れてほしい。ネイティブスピーカーの英語教師を増やす。校長次第で良くも悪くもなる制度はやめて、教員全員で学校改革していけるような人事制度にする。

給食は希望者のみにするか、廃止してカフェテリア等を導入。そうすれば、アレルギーも宗教上の理由にも対応できると思う。とにかく、教育に対して予算を増やしてほしい。

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市立学校の卒業者 / 大阪市民

- ・小学生・中学生の基礎学力が低い、原因は単純に勉強不足ですね。

また、授業時間や日数が少ないと感じます。

- ・小学校低学年の遅れが、その後の学力向上の妨げになっています。

・低学年で基礎学力をどう養うか。幼児教育から小学校にどう繋げていくか。また、幼児から低学年に関しては、健康と体力にも力を入れるべきと考えます。これぐらいの年代は健康と体力と学力の関係は密接な関係にあり、体力がある健康な子供は学力が高いとの統計学的なデータもあります。

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市立学校の卒業者 / 大阪市民

・落ち着いて授業を受けられない子に手をとられ授業が進まなかったり、集中して授業を受けられないこともある

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者

- ・学力が他府県に比べて低いこと
- ・夏休みの登校がないこと。遊んでばかりになりがち。

夏休みに登校日を設けて途中で提出させる(一部を) 最初から遊んでばかりにならない。

- ・通常と休み期間の宿題が少ないこと

宿題が他府県に比べて少ない気がする。他府県の平均の宿題にかかる時間を調べて同程度に出す。例えば大阪市が毎日10分で他が一日30分を出していたら6年間で相当な勉強量の差が出ると思う。

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者

- ・授業の面白さに欠け、子供が興味を持てる授業内容ではない。教師の教え方に問題がある。教師が大手予備校講師のように(例えば国語の)授業が参加して面白い、楽しいと思える授業になる努力を少しでもしているか疑問？
- ・予備校講師の授業のように興味を持たせる授業をオンラインでもいいので受ける機会を作ってはどうか？

○大阪市内にお住まいの乳児・幼児の保護者

- ・小学生、中学生と同じクラスでの勉強がメインでクラス交流友人形成も必要だと思いますが、それ故にいじめが起こりやすいと思います。また小学生は特に同じ先生に全ての教科を教えられるため、ハズレの先生という言い方は悪いかもかもしれませんが、ハズレの先生に当たれば1年間の子供の教育は終わります。
- ・小学生に関しては中学生と同じように教科ごとに先生を専門的に変える。+学期ごとに能力別のクラスに変える。クラス活動は体育や図工、音楽で十分じゃないでしょうか。

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者

- ・学力については、授業がわからなくても放っておかれる。
- ・私が小学校の頃、毎朝 漢字ドリルあるいは 算数のドリルの小テストがあったが 子供の学校ではない。点が悪ければできるまで、やらされた。
- ・中学も毎朝 ワーク等をやればいい。
- ・授業において行かれる子供が多く、教え方にも問題あり、
- ・数学は進むスピードが速すぎ、塾に行かねばついていけない。

○大阪市立学校の教職員

- ・学力向上
- ・前例踏襲主義による改革を望まない組織風土 改革改善の推進
- ・教員の授業力不足 授業力の客観的評価を行い、それを人事考課に連動させる

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者

- ・夏休みの宿題が近隣都市と比べて半分くらいであり、基礎学習の足りなさを感じる。
 - ・いきいきにいく子供が多いが、学校ごとのいきいきによって勉強できる環境がちがう。
 - ・一部のいきいきで塾のような勉強の場をもうけている。それを全校で行うことで親もいきいきにいかせたいし、収入に関係なく勉強ができる場を与えられる。
- 学童に補助をせず、いきいきにお金をさくなら、もっと勉強できる環境をつかってほしい。
一部の区でいきいきにそれがあ、他はないのは不満である。

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市立学校の卒業者 / 大阪市民

- ・学校によって、学力の差があることや、よい先生のかたより。
- ・地域的な問題(収入の格差)も、あるかと思いますが、そういうところには、よい先生をいれるとか補習学習があるとかで、格差を埋めて欲しい。

○大阪市立学校の教職員 / 大阪市立学校の卒業者 / 大阪市民

- ・子どもに求めるものが多すぎて、しっかりとした学力の定着が、学校教育だけでは難しくなっている。

・昔と比べてという部分ですが、今は情報教育を求められたり、英語や道徳、ゆとりにクラブ活動などやるが多すぎる。

・現在、中教審でいろいろと話が進められているようですが、細かいことは決めずに大まかなアウトラインのみを決めて、細かい部分は地域の特性もあるので学校に任せてほしい。また、総合の時間は継続のようですが、必要性を感じない。英語に特化していくべきである。英語に関しては、専門教員を各校1名は最低限配置し、本当の発音を学ぶべき。

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市内にお住まいの乳児・幼児の保護者 / 大阪市民

- ・学力の低さ
- ・同じ公立なのに学校により学力の差があること
- ・就学前教育の充実（特に保育所）
- ・少人数授業
- ・レベル別の授業
- ・低学年からの英語教育
- ・学習障害等が疑われる児童への個別対応（本人と周囲の児童両方のためになるよう、きめ細かい対応が必要）
- ・学校間の格差をなくし、特色は学力以外の取り組みで行う
- ・低所得者だけでなく、中間層家庭への塾代の助成
- ・保育士・教職員の増員
- ・図書室の毎日開放
- ・放課後いきいき事業の充実（現状は、狭い教室でテレビをつけてほったらかし。勉強や運動、色々な経験をするチャンスなのに得るものがない。）
- ・学童保育の充実（色々な経験はできるが、建物などの安全面に問題あり。料金や運営のための労力など保護者の負担が大きい。）

（特別支援教育に関するご意見）

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者

・特別支援を必要とする児童に対する必要な支援の体制や個別の学習指導がされていないこと。教員のなかに特別支援に精通した先生がいないこと。特別支援学校や発達障害児をフォローしている医療機関、民間の学校や教育機関との連携がなく自校の独自の考えで模索して大した学習効果を得ないまま発達障害児が日々過ごしていること。

・特別の支援を必要とする児童や発達障害に関する知識不足、理解の不足、少数生徒への放置、無関心

・発達障害や特別な支援を必要とする児童の基本的な理解。専門機関との連携。

（才能を伸ばす教育に関するご意見）

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市内にお住まいの乳児・幼児の保護者 / 大阪市立学校の卒業生

・一校だけでもよいので例えば午後からは大学のように選択制にして好きな授業に参加できるような学校を作る。

特に普通の学校で落ちこぼれているのに体育、音楽、美術、パソコンなど特定のものに長けている子供達は転入できる制度を作る。

才能ある子供達は生きやすくなり、才能もぐんぐん伸びると思います。

(ICT活用に関するご意見)

○大阪市立学校の教職員

- ・ICT を活用して授業を進める指導者側の体制が整っていない。
- ・ICT 活用に向けた研修が十分ではない。
- ・教員を1か月ごと交代で、集中して学校を離れICT 活用の実習を受ける環境を整える。

(部活動に関するご意見)

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者

- ・中学校の部活の拘束時間が長すぎ、また休日も部活で本来の学習するべき時間がなく、リフレッシュもできない状態になっている点。
- ・部活動の取り組みについて、学校全体で統されていない。各顧問の方針のみで進められている点。
- ・教育委員会を含め、学校長、顧問、保護者がしっかりと事前に公の場で説明・話し合い等を行い、決定事項は徹底して守らせる。

(学校と家庭の役割分担に関するご意見)

○大阪市立学校の教職員 / 大阪市立学校の卒業生

- ・学校で起こったことは学校で、下校後のトラブルは各家庭で、とどのようになんでも全てに関わらないこと、自分たちの問題は自分たちで解決しなくてはならないという意識改革が必要である。やはり、日本全体が旧態依然とした体質のため、問題が起きると「全て学校で」という考えになるが、各家庭の時間の都合、考え方などが多様化しすぎて学校・行政での解決策の提示や納得のできる考えを出すことは難しい。
- ・これらは限界があり、自分で解決すべきことは自分ですということを周知すること、理解してもらうことが大切だ。それには市長の力が必要だと思われる。これも学校だけがいきなり言ってしまうと、「ズレ」により理解を得ることは難しい。しかし、選挙結果から多くの支持を集める市長ならば、理解を得られるのではないか。

(幼稚園・保育所に関するご意見)

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市立学校の卒業生 / 大阪市民

1. 保育園の不足。
 2. 幼稚園での延長保育を増やす
- ・幼稚園でも6時ごろまでの延長保育を行えば、朝は時短を利用すれば、9時からの登園も可能だと思います。
 - ・働いていても保育園ではなく、教育を行ってくれる幼稚園に通わせたい親はいると思いますし、保育園不足の解消にもなると思います。

○大阪市内にお住まいの乳児・幼児の保護者

- ・保育所の待機児童問題
- ・新たに建設するマンションや複合施設に保育所を含める場合、助成金を出す。

地価の高い住宅街や駅近くに新たに保育所単独で作るのは難しいが、皆が預けたいのはそういった場所だから。

(その他のご意見)

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市立学校の学校協議会委員

- ・いじめの問題については、大阪府が取り組んでいる対策を一層進めていくことが重要と考える。
- ・できる子を伸ばすことについては、習熟度別クラスの設置などを推進すること。
- ・教職員の負担減については、学校に1名在籍している学校事務員の再教育、学校業務への一層の活用が重要ではないだろうか。

○大阪市立学校の児童・生徒 / 大阪市立学校の卒業生 / 大阪市民

- 1、学校の生徒数が少なく、各学年1クラス(全クラス10クラス以下)の学校が多く、運動会やクラス替え等の学校行事にも支障あると考える。
 - ・学校統廃合および小中一貫校への変更を推進する。特に校区の変更は、「効率性、公平性、安全性」を基準としなければならない。
また、OB、町内会など意見よりも、子育て世代とくに現役の親子の意見を重視することが、大切であると考えます。
- 2、通知表の3段階評価(頑張ったことに対する成果が見えにくい。)
 - ・通知表を5段階評価に変更(中学生は10段階評価)
- 3、学校の開放時間の少なさ(特に朝)
 - ・土曜日授業の復活
 - ・夏休みの短縮
 - ・毎朝の開門時間の変更(現在8:15より8:30を、7:30より8:30或いは職員到着後より8:30とするなど。)

○大阪市立学校の児童・生徒の保護者 / 大阪市民

- ・他県から越してきた者ですが、大阪ではあまりにも統一的な教育がされていると常々思っている。中学の校則では髪型から下着の色まで統一し、暑い日も冬服着用期間であれば汗を流しながら冬服を着なければならず、例外は許されない。このようなことは、20年以上前でも既に関東ではなかった。
- ・昔から大阪ではこのような教育体質だったのだろう。疑問を口にする人がいなかったのか、口にしても無視されてしまっていたのかはわからない。
- ・あまりにも統一的な教育がなされた結果、誰もこれまでのしきたりに物申せないのではないか。
- ・制服やランドセル、指定カバン等を撤廃する。若しくは、自由化する。
- ・いじめが多い。
- ・いじめが多いのも、多様性を認めない教育・指導が根本原因にあるのではないか。
- ・PTA会費が高い。使途が明確ではないものが多い。行政は任意加入団体だから関与しないという立場だが、任意加入団体であるにもかかわらず、そのような説明が一切ない。東京では、任意加入であることを入学時に説明し、入会申込書を用意している学校が多い。
- ・学校という公共施設を使用しているPTAでの問題点について、都合が悪いときだけ行政が不介入という立場を取ることがおかしい。それならば、任意加入団体であることを明確に市民に知らしめるべきではないのか。
- ・PTAが任意加入団体であることが全ての保護者にわかるように情報提供し、入会希望者には入会申込書の提出を求める。